

校訓  生をよるこべ 矩にしたがえ 全力をつくせ	学校教育目標 (1) 生命を尊び、互いの価値を認め、励まし合える人間関係を築く。 (2) 広い視野に立ち、深く考えて行動できる力を養う。 (3) 志を高く掲げ、たくましく生きる力を育てる。	育成する生徒像 (1) 基本的な生活習慣の確立に向けて、自ら努力する姿勢をもった生徒。 (2) 学習への意欲を高め、進路目標の実現に向けて努力する生徒。 (3) 心身ともに健全で、思いやりの心と感謝の気持ちで挨拶と笑顔のある生徒。 育成を目指す資質・能力 (1) 習得力 (2) コミュニケーション能力 (3) 自己制御力	学校標語  『シマレ ガンバレ』 (昭和8年制定)  『拳校大和』 (昭和32年制定)
--------------------------------------	---	--	---

**経営方針**

- 「組織としての企画力、調整力、実行力を高め、力強い協働体制を確立する」
- (1) 教職員一人一人の力を組織として大きな力とし、協働意欲に満ちた活力ある学校づくりに努める。
  - (2) 目標実現のために、実践内容の定期的な点検と評価、改善を確実に実行する。
  - (3) 保護者・地域からの信頼と支援に応えるため、積極的な情報発信と連携を強化する。

教育活動				
領域	中期目標	今年度目標	目標達成のための具体的方策・評価の観点	関連分掌等
学習指導	意欲的に学び続けることができる生徒の育成	新教育課程への対応	本校で学ぶ生徒に育成を目指す資質・能力を明確にするとともに、教科間のつながりや学習指導の改善を踏まえた新教育課程の編成を推進したか。	教務部、教科
		生徒の授業満足度の向上	生徒の授業アンケートをもとに、研修等の授業改善の取組を行い、授業満足度を向上させるとともに、生徒の学び意欲の向上に資することができたか。	教務部、教科
		授業規律の組織的改善	不用意な欠課や、授業中の携帯使用といった授業を受けるための基本的マナーについての組織的で継続的な指導を行いつつ、基礎的な学力の向上が図られたか。	教務部、生徒指導部
進路指導	進路意識の高揚と社会人としてのマナーの養成による生徒の進路実現	進路指導の充実	外部支援団体の講演等を活用し、マナー指導や就労意欲を向上させる取り組みを実施する等、キャリア教育の充実、進路意識の高揚が図られたか。	教務(進路)、学年
		生徒の状況を踏まえた適切な進路指導の実践	家庭と密接な連携の下、広く情報提供を行い、早期に進路目標を決定させるとともに、奨学金制度等を適切に説明・活用ができたか。	教務(進路)、学年、事務部
生徒指導	共通理解と生徒理解の上に立った自覚、責任、自立ある生徒の育成	生徒会行事の充実	本校の生徒に身に付けさせたい資質・能力や行事の目的を明確化し、生徒自身が作る生徒会行事へと意識を変えることができたか。	生徒指導部
		自己管理能力の向上	中抜け、無断欠席、あいさつ、スマホの利用に関するルールやマナー等の規範意識に関する指導を、教職員の共通理解のもとで継続して適切に行われたか。	生徒指導部、学年
		いじめ防止対策の充実	定例だけでなく、予防的視点をもった日常的な個人面談を行い、生徒が安心して学校生活を送れる体制を確保できたか。	生徒指導部、学年
		部・同好会の活性化	部員数の確保をしつつ、定体連後にも継続して部活動に参加させることができたか。	生徒指導部、部顧問
健康・安全指導	他者を尊重し円滑なコミュニケーションをとることができる生徒の育成	個別支援体制の充実	生徒個々の家庭環境や困り感を詳細に把握し、支援が必要な生徒について、個別の指導計画の作成、教職員間の情報共有など、組織的で持続的な支援が行われたか。	生徒指導部、学年
		危機管理体制の向上	危機管理マニュアルに則り、部外者の学校への出入りの制限が効果的に行われたか。	生徒指導部、教頭、事務部
		コミュニケーション能力・社会性の向上	適性検査等を実施し、生徒の個々の性格や適性を分析し、指導に活用することで適正なコミュニケーションが促進できたか。	各分掌、教頭

学校経営				
領域	中期目標	今年度目標	目標達成のための具体的方策・評価の観点	関連分掌等
地域に信頼される学校作り	保護者や地域からの信頼度の向上	地域や保護者に対する情報発信の強化	ホームページ、学校説明会、学校だより、中学校訪問等の見直しをできたか。	教務部、教頭
		PR活動の強化	学校説明会、学校案内パンフレットの改善。また中学校訪問や個別面談の受入を通し、生徒の確保を目指すとともに、ミスマッチのないような説明をできたか。	教務部、教頭
		保護者からの信頼度の向上	保護者面談・三者面談、家庭訪、給食試食会等、保護者との接点を増やすことができたか。保護者アンケートの内容の見直しを図ったか。	各分掌、学年、教頭
組織運営	課題共有と解決のための協働体制の確立	学校評価の充実	各分掌等における重点課題を明確にし、確かな根拠に基づく達成度の検証が行われ、学校評価に基づいた改善方策により学校運営の改善が図られたか。	各分掌
		分掌組織の活性化	月例の分掌会議や定期的な委員会を実施し、各分掌・委員会の課題を明確にし、改善に向けた取り組みを検討・実施できたか。	各分掌
		校内組織の見直し	2分掌化の2年目に入り、業務内容が整備され、業務量の平準化が図られたか。	各分掌
教職員の資質向上	本校教職員としての自覚と責任の共有	授業研究の充実	公開授業や授業方法に関する研修を実施し、授業改善や指導力向上、生徒の授業満足度の向上に資するものとできたか。	教務部、各教科
		校内研修の充実	生徒相談や特別支援に関する研修を実施し、生徒個々への支援の質を向上できたか。	生徒指導部
		不祥事を防止する職場環境の保持	複雑な環境で育った生徒への思慮深い対応や、モラル違反に対する緊張感や危機感の保持、適度な同僚性の確保など、不祥事が起こりにくい職場環境が維持されていたか。	管理職